

[特別企画2]

サテライト会場を設けて開催した看護師集合型研修会の試み

平塚紘大¹⁾、森下勝哉¹⁾、藤 理沙²⁾、前田良一¹⁾、芳賀寛史¹⁾、山本 健³⁾、

葛間一裕³⁾、本間 淳³⁾、菅原拓男¹⁾、前野節夫¹⁾、紀野修一¹⁾

日本赤十字社北海道ブロック血液センター¹⁾、社会医療法人北楡会札幌北楡病院²⁾、
北海道赤十字血液センター³⁾

【はじめに】

安全な輸血療法を実施する上で、輸血の準備や実施、患者観察等に携わる看護師が果たす役割は大きい。しかし、一般に看護師に対する輸血教育は十分に行われておらず¹⁾、とくに小規模医療機関の看護師においては、輸血に関する正しい知識が浸透していない現状がある²⁾。そこで、北海道ブロック血液センター（以下、北海道センター）では、希望する小規模医療機関に対し輸血に関連した看護師向けの輸血研修会を開催している。

日本輸血・細胞治療学会北海道支部輸血看護師協議会では、2017年より年に2回ずつ、あらゆる医療機関の看護師を対象に「看護師のための臨床輸血セミナー」という集合型研修会（以下、セミナー）を開催しており、北海道センターが共催している。しかし、本セミナーの開催場所は、参加者が多数見込まれる札幌市に限定していたため、札幌圏以外の看護師は、長時間の移動、交通費および宿泊費等の費用負担が大きく、参加が困難な状況にあった。

今回、札幌圏以外の看護師も容易に参加可能とするため、初めての試みとして北海道内（以下、道内）の各地方都市にサテライト会場を設置し、セミナーを開催したので概要を報告する。

【方 法】

2018年10月27日に開催されたセミナーでは、札幌会場（以下、本会場）を北海道センター社屋内の研修室とし、道内にある事業所や出張所にサテライト会場を設置した。サテライト会場には、北

海道ブロック内に整備されている既存の「道内テレビ会議システム」（以下、テレビ会議システム）を活用し、映像や音声を同時中継した。

1. テレビ会議システムの概要

道内には、札幌に所在する北海道センターをはじめ、事業所3施設、出張所12施設がある（図1）。テレビ会議システムとは、北海道ブロック独自のインターネット回線を用いたシステムで道内の全施設が接続可能であり、映像や音声が一時的にテレビ中継可能である。

2. サテライト会場設置の確認

主要な道内の事業所および出張所に研修会場の確保や収容人数等を確認し、サテライト会場設置の可否を判断した。

3. 中継方法（図1）

本会場において講師が操作するPC（以下、講師用PC）の映像を研修室常設の液晶プロジェクターに接続してスクリーンに映写すると同時に、テレビ会議システムを接続したサテライト会場に講師用PCの映像を送信した。サテライト会場では、本会場から受信した映像をプロジェクターに出力し、モニターあるいはスクリーンに映写した。音声については、本会場では講師用および質疑応答用のマイクを用意し、講師周辺にテレビ会議システムの集音マイクを設置し、サテライト会場へ送信した。サテライト会場では、テレビ会議システムから受信した音声を出力した。

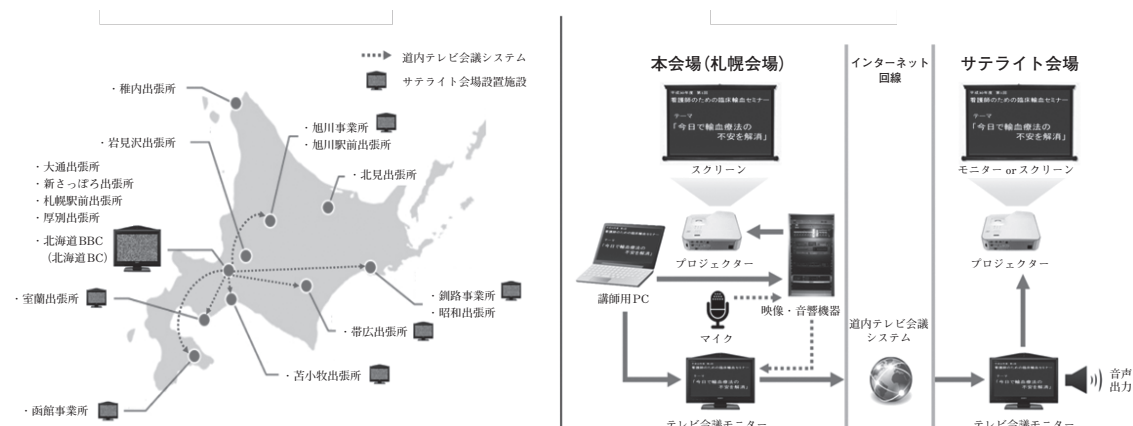


図1 北海道内所在事業所・出張所およびサテライト会場設置施設(左図)、道内テレビ会議システム中継概要(右図)

4. セミナー内容

セミナーは「今日で輸血療法の不安を解消」というテーマで行い、輸血療法における看護師の役割や輸血副作用発生時の対応、輸血過誤事例の紹介等の講演が行われた。また、セミナー終了後はアンケートの協力をお願いした。

【結 果】

6施設にサテライト会場を設置した(図1)。全会場の最大収容人数は383名で、参加人数は259名(本会場:133名, サテライト会場6施設:126名)であった(表1)。また、既存のテレビ会議システムを使用したため、サテライト会場運営のための費用はかからなかった。

セミナー当日の開始数時間前、本会場とサテライト会場間の機器動作確認を実施した際に、本会場において、講師用PCから出力した映像が本会場のスクリーンには映写されたが、サテライト会場では映写されないトラブルが発生した。

セミナー終了後のアンケート結果からは、セミナーの満足度および理解度はともに90%以上を占めており概ね良好(表1)であった。しかし、サテライト会場に参加した看護師から「質問者からの音声不良」や「臨場感不足」という意見が散見された。

サテライト会場を設けたセミナーは、初回とし

てはほぼ成功したと考えられるが、今後の課題も明らかとなった。

【考 察】

サテライト会場に参加した看護師は、全体の参加人数の半数を占めており、道内の地方都市にサテライト会場を設置することは、遠方から参加が困難である看護師に大きなメリットがあったと考える。また、外部業者による中継サーバーを使用したサテライト会場同時開催を試みた報告³⁾では、外部業者への委託によるサーバー使用料、データ通信料、機器レンタル料等の費用が発生するという課題があったが、今回のセミナー開催では、既存のテレビ会議システムの使用により、外部業者への委託費用の削減が可能となったことから、費用はかからなかった。

一方で、映像の転送不良については、日常業務においてテレビ会議システムを使用している安心感から、セミナー当日の機器動作確認で十分運用できるという判断が原因で動作不良が生じてしまった。今後はセミナー直前の機器動作確認だけではなく、事前にサテライト会場のスタッフとも連携し、余裕を持った入念な確認作業が必要であるとする。

サテライト会場に参加した看護師の意見は、今後のセミナー開催にあたり大変貴重である。今回

表1 本会場およびサテライト会場参加人数およびアンケート結果

会 場	最大収容人数 (名)	参加人数 (名)	研修会アンケート	
			満足度(%)	理解度(%)
本会場(札幌会場)	180	133	91.4	100.0
サテライト会場	203	126	89.3	99.2
室蘭会場	50	21	90.0	100.0
苫小牧会場	8	4	75.0	100.0
旭川会場	30	18	88.9	100.0
釧路会場	40	19	94.4	100.0
帯広会場	15	19	83.3	100.0
函館会場	60	45	90.7	99.6
合 計	383	259	91.7	99.6

の音声不良を踏まえ、今後は事前の動作確認の際に質問者のマイク位置の設定等検討が必要である。また、臨場感不足については、野畑ら³⁾が使用したWeb会議システムなどを活用することで、臨場感を確保する中継方法を検討し、今後もより多くの看護師が参加できる満足度の高い充実したセミナーが継続できるように努めたい。

【まとめ】

サテライト会場を設けたセミナーは、広域な北海道の看護師が容易に参加できるという大きなメリットがある。北海道ブロック既存のテレビ会議システムを使用することで、費用を削減しつつ、多数の看護師を対象にセミナーを開催することができた。

文 献

- 1) 山崎喜子ほか：学会認定看護師の看護師教育による輸血関連インシデント内容の変化. 日本輸血細胞治療学会誌, 61(5) : 502-505, 2015.
- 2) 森下勝哉ほか：血液センターが行う小規模医療機

関の看護師向け院内輸血研修会の成果. 日本輸血細胞治療学会誌, 64(6) : 784-788, 2018.

- 3) 野畑智樹ほか：赤十字血液シンポジウムにおけるサテライト会場同時開催の試み. 血液事業, 41(1) : 19-26, 2018.